

計算書類に対する注記(法人全体用)

1. 継続事業の前提に関する注記

- ・該当なし

2. 重要な会計方針

(1) 有価証券の評価基準及び評価方法

- ・満期保有目的の債券等:償却原価法(定額法)
- ・上記以外の有価証券で時価のあるもの:決算日の市場価格に基づく時価法

(2) 固定資産の減価償却の方法

- ・建物並びに器具及び備品:定額法
- ・リース資産
所有権移転ファイナンス・リース取引に係るリース資産
自己所有の固定資産に適用する減価償却方法と同一の方法によっている。
所有権移転外ファイナンス・リース取引に係るリース資産
リース期間を耐用年数とし、残存価格を零とする定額法によっている。
- ・無形固定資産:定額法

(3) 引当金の計上基準

- ・賞与引当金:職員に対して支給する賞与の支出に充てるため、期末在籍職員に対して、支給対象期間に基づく賞与支給見込額を計上している。

3. 重要な会計方針の変更

- ・該当なし

4. 法人で採用する退職給付制度

- ・独立行政法人福祉医療機構の社会福祉施設職員等退職手当共済制度によっている。

5. 法人が作成する計算書類と拠点区分、サービス区分

当法人の作成する計算書類は以下のとおりである。

- (1) 法人全体の計算書類(会計基準省令第1号第1様式、第2号第1様式、第3号第1様式)
 - (2) 事業区分別内訳表(会計基準省令第1号第2様式、第2号第2様式、第3号第2様式)
 - (3) 社会福祉事業における拠点区分別内訳表(会計基準省令第1号第3様式、第2号第3様式、第3号第3様式)
 - (4) 公益事業における拠点区分別内訳表(会計基準省令第1号第3様式、第2号第3様式、第3号第3様式)
 - (5) 収益事業における拠点区分別内訳表(会計基準省令第1号第3様式、第2号第3様式、第3号第3様式)
- 当法人では、収益事業を実施していないため作成していない。

(6) 各拠点区分におけるサービス区分の内容

- (ア) 法人本部拠点区分(社会福祉事業)
 - 「法人本部」
 - 「小規模多機能ホーム開設準備室」
 - 「障がいグループホーム開設準備室」
- (イ) 特別養護老人ホーム拠点区分(社会福祉事業)
 - 「特別養護老人ホーム砥部オレンジ荘」
 - 「短期入所生活介護事業所砥部オレンジ荘」
 - 「通所介護事業所砥部オレンジ荘」

- (ウ) 軽費老人ホーム拠点区分(社会福祉事業)
 - 「軽費老人ホーム(ケアハウス)砥部オレンジ荘」
 - 「特定施設入居者生活介護砥部オレンジ荘」
- (エ) 在宅介護支援施設拠点区分(社会福祉事業)
 - 「小規模多機能ホームあったか」
 - 「デイサービスセンターあったか」
 - 「ヘルパーステーションあったか」
- (オ) グループホーム拠点区分(社会福祉事業)
 - 「グループホーム里山」
- (カ) 在宅介護支援センター拠点区分(公益事業)
 - 「在宅介護支援センター砥部オレンジ荘」
 - 「居宅介護支援事業所砥部オレンジ荘」
 - 「配食サービスセンター砥部オレンジ荘」
- (キ) サービス付き高齢者向け住宅拠点区分(公益事業)
 - 「サービス付き高齢者住宅あったかハウス」
 - 「ケアプランセンターあったか」

6. 基本財産の増減の内容及び金額

基本財産の増減の内容及び金額は以下のとおりである。

(単位:円)

基本財産の種類	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
土地	172,933,897	0	0	172,933,897
建物	683,912,823	30,405,859	53,191,855	661,126,827
合計	856,846,720	30,405,859	53,191,855	834,060,724

7. 基本金又は固定資産の売却若しくは処分に係る国庫補助金等特別積立金の取崩

・該当なし

8. 担保に供している資産

担保に供されている資産は以下のとおりである。

建物(基本財産)	73,133,590円
計	73,133,590円

担保している債務の種類および金額は以下のとおりである。

設備資金借入金(1年以内返済予定額を含む)	16,510,000円
計	16,510,000円

9. 有形固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高

固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高は、以下のとおりである。

(単位:円)

	取得価額	減価償却累計額	当期末残高
建物(基本財産)	1,736,546,376	1,075,419,549	661,126,827
構築物	36,920,428	30,948,149	5,972,279
車両運搬具	38,938,751	38,938,709	42
器具及び備品	74,031,081	69,065,108	4,965,973
合計	1,886,436,636	1,214,371,515	672,065,121

10. 債権額、徴収不能引当金の当期末残高、債権の当期末残高

債権額、徴収不能引当金の当期末残高、債権の当期末残高は以下のとおりである。

(単位:円)

	債権額	徴収不能引当金の当期末残高	債権の当期末残高
事業未収金	84,926,606	0	84,926,606
未収金	364	0	364
未収補助金	6,800,000	0	6,800,000
合計	91,726,970	0	91,726,970

11. 満期保有目的の債券の内訳並びに帳簿価額、時価及び評価損益

・該当なし

満期保有目的の債券の内訳並びに帳簿価額、時価及び評価損益は以下のとおりである。

(単位:円)

種類及び銘柄	帳簿価額	時価	評価損益
合計	0	0	0

12. 関連当事者との取引の内容

・該当なし

関連当事者との取引の内容は次のとおりである。

(単位:円)

種類	法人等の名称	住所	資産総額	事業の内容 又は職業	議決権の 所有割合	関係内容		取引の内容	取引金額	科目	期末残高
						役員の兼務等	業務上の関係				

取引条件及び取引条件の決定方針等

13. 重要な偶発債務

・該当なし

14. 重要な後発事象

- ・令和2年3月31日をもって、通所介護事業所砥部オレンジ荘を廃止する。
- ・令和2年4月1日付で、居宅介護支援事業所砥部オレンジ荘の再開を行った。
- ・令和2年度に、新規事業((仮称)小規模多機能ホーム里山、(仮称)里山あったかハウス)の開設を予定している。

15. その他社会福祉法人の資金収支及び純資産増減の状況並びに資産、負債及び純資産の状態を明らかにするために必要な事項

- ・平成31年4月から高齢者総合福祉施設砥部オレンジ荘及び在宅介護支援施設高尾田あったか広場で、給食業務委託の見直しを行い、給食業務の直営化を行った。

- ・平成31年4月30日付で、ヘルパーステーションあつたかの廃止を行った。
- ・職員の退職に伴い、令和1年7月10日付で、居宅介護支援事業所砥部オレンジ荘の休止を行った。
- ・居宅介護支援事業所砥部オレンジ荘の賞与引当金について、職員の退職に伴い、事業を休止したため、使用しなかった賞与引当金の戻入れを行った。
賞与引当金戻入金額: 155,455円
- ・令和2年度の新規事業((仮称)小規模多機能ホーム里山、(仮称)里山あつたかハウス)の開設に伴い、本部拠点区分に開設準備室サービス区分を設けて、開設に当たり必要な費用を建設仮勘定で処理をしている。